

(1) 三条市都市計画マスタープラン全体構想案について

全体構想案 修正箇所・対応について

No	ページ	前回の審議会での御意見	対応
1	43	—	将来都市フレームの内容を追記。
2	75	下水道の整備について、人口減少の対応として、適正な管理について記載してはどうか。	既設管路の適正な維持管理について追記。
3	80 81	近年、鳥獣被害が多く、市内にも出没し、交通事故等の被害が発生している。鳥獣被害の駆除等について記載してはどうか。	「三条市鳥獣被害防止計画」に基づき、被害防止に向けた環境整備に努めることを追記。
4	82 86	景観に関する内容が現行計画よりも弱まっているのはなぜか。 八十里越街道の開通に伴う、玄関口にふさわしい景観について記載してはどうか。	令和2年度策定の新潟県景観計画により、一定の規制がされているため、独自条例の策定による上乘せについては、今のところ予定していないということであり、景観への意識を弱めたものではない。 また、八十里越街道の開通については、自然眺望に配慮した道路景観の確保について記載済み。下田地域における景観保全を意識した内容については、地域別構想で記載予定。
5	50 89	河川整備について、布施谷川の改修は、生命・財産への影響が大きいため、一番初めに記載してはどうか。	記載の一級河川については、県の河川番号順に布施谷川、島田川、新通川、大平川、貝喰川に修正。なお、県道・市道についても路線番号の順に並べ替えを行った。
6	87	原発避難について、何か記載してはどうか。	新潟県原子力広域避難計画においては、三条市は即時避難区域及び避難準備区域のいずれにも該当していない。都市マスでは記載していないが、地域防災計画（原子力災害対策編）で対応している。 災害全般における避難路の整備については記載済み。
7	—	アンケートの有効性について、回答者の年齢層が高めだが、若者の意見が反映されるよう数値の補正などを行っているのか。	補正については、ウェイトバック補正（回答者の年齢別人口比が実態の人口比と大きく乖離していた場合に実態と整合が取れるよう調整する方法）があるが、無作為抽出の段階で若者を多く抽出した結果、回答者の人口比は三条市の実態と乖離していなかったため、補正の必要はない（別紙参考資料参照）。
8	—	緑地・公園について、市へ政策提言された大学の研究結果とズレが生じているのではないか。	提言内容は、都市計画マスタープランの中に取り入れるものではなく、公園の再配置計画の中で検討します。